



成熟都市の実現に向け、 次世代につなぐ まちづくり

～人口減少にも負けないまちへ～

2 月 18 日から始まった第 355 回三田市議会定例会で、森哲男市長は令和 2 年度
の施政方針を表明しました。「施政方針」とは、これからのまちづくりの基本的な
考え方と主な施策を示すものです。今号では、1 面で施政方針(概要)を、2 面で
は 2 年度に力を入れて取り組む重点項目についてお知らせします。

※施政方針の全文は、市ホームページ
「市長のページ」に掲載しています。
なお、2 年度予算の概要は広報紙 4 月
1 日号に掲載する予定です。



● 「成長」から「成熟」の時代へ ～三田市の目指すまち～

成長の時代

かつて 3 万 3000 人程度だった本市の人口は、
大阪や神戸のベッドタウンとして急増し、1987 年
から人口増加率が 10 年連続日本一となりました。

20 万人都市を目指して、
学校や病院等の建設など急速
に都市機能の整備が図られ、
人口も平成 23 年には 11 万
5000 人余りを記録しました。



しかし、人口は 11 万 1719 人(令和 2 年 2 月 1
日現在)へと減少しました。時代は大きく変わり、
学校や病院等の建設ラッシュの「成長の時代」は過
ぎ、今後は再編・統廃合を進めなければなりません。
また、ニュータウン住民の高齢化をはじめ、「まち
の老い」も迫っています。

人口減少をくい止めるために、知恵を出して人
口が減っても住みやすい、住み続けたいまちへと
三田をつくり変えなければなりません。

成熟の時代

今こそ、未来のまちづくりの主役である今の若
者が中心となって、まちの未来を考える「若者の
まちづくり」を目指さなければなりません。また、
市民の皆さんと協力しながら、持続可能なまちづ
くりを推進するにあたっては、SDGs(持続可能な
開発目標)の理念に沿って果敢にそして粘り強く
取り組むことで、三田市が直面するさまざまな困
難な課題を解決していけるものと確信しています。

市民力×地域力で
住み続けたいまちづくりを

● 「人口減少にも負けないまちへ」 ～重点項目～

令和 2 年度は市政運営の総括的な方
針として、「次世代につなぐまちづくり
～人口減少にも負けないまちへ～」を
掲げ、市政を積極的に展開します。



重点項目 1 地域の創生 ～まちを元気に～

本市の豊かな教育・保育資源を活用した「子ども・子育て
応援のまち三田」や多世代の交流機会の創出などによる「学びの
都 三田」を実現します。また、「生活・産業都市」への転換を
図るため、創業支援にかかるハード・ソフト両面からの支援の
充実を図り、本市に「起業・創業の気風」を根付かせ、若者や
元気な高齢者などが新たなことにチャレンジできる仕組みを整
え、まちの元気を創出します。

重点項目 2 まちの再生 ～まちを強く～

本市には市街地、ニュータウン、農村などの特性が異なる地
域があり、それぞれの地域が抱える課題はさまざまです。地域
の弱みを補い、強みはさらに高める取り組みを進め、各地域の
魅力をつなぎ合わせることで、成熟したまちとしての活力と賑
わいを取り戻します。

重点項目 3 人と人との共生 ～まちを優しく～

お互いに支え合い、助け合うために、地域医療の確保や医療・
介護・福祉の連携の促進、市民の健康づくり活動への支援、災
害弱者に配慮した災害対策の強化などに取り組み、市民一人一
人が健やかに安心して暮らせるまちをつくります。